

2009年号



伊賀の友垣

三重県立上野高等学校同窓会東京支部会報

20号

事務局

〒180-0003

武蔵野市吉祥寺南町3-18-10

吉岡進宅

TEL/FAX:0422(43)2686

発行人 吉岡進

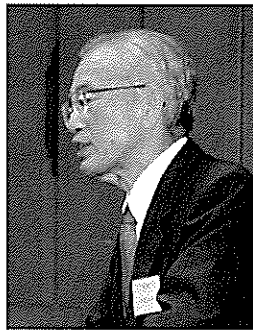
発行年月日/平成21年10月1日

第13回東京支部総会・懇親会 盛大に開催

新支部長に今西元郎さん(高7回)を選出
福井健二さん(高6回)が講演 「藤堂高虎公入府四〇〇年と伊賀上野城」



査報告があり、質疑の後、承認された。役員改選では、2期4年にわたり支部長をお願いした吉岡進さん(高3回)に替り、新支部長に今西元郎さん(高7回)が選出され、ご挨拶があった。(中森)



今西元郎・新支部長

第13回を迎えた東京支部総会・懇親会は平成20年11月16日(日)、東京駅近くの八重洲富士屋ホテルの間で開かれた。郷里の上野から左橋佳三同窓会会長、加藤文悟母校校長、本部同窓会事務局の留永裕也教諭、および浅菜宝明名古屋支部長をお迎えし、支部会員約125名が集い、盛大な会となった。

第二部は、熱のこもった福井健二さん(高6回)の講演、「藤堂高虎公入府四〇〇年と伊賀上野城」です。
当日、私は実行委員長として全体の進行役を担当させていただき、終始ステージ横の司会者席に座っていましたので会場全体がよく見渡せました。
普通、講演会という会場であちらこちらでコックリ、コックリと舟を漕いでいる姿

が見受けられるものですが、今回、125名の参加者は全員、真剣な眼差しで壇上の福井講師のお話に聞き入っていました。
講演に先立って、同期の松山容子さんから福井さんのプロフィールの紹介がありました。が、クラスメートによる思い遣りのこもった紹介で、高6回卒の皆さんの強い絆が感じられると同時に、福井さんが同期の方々からいかに敬愛されているかが窺えました。
この時、私は福井さんにステージの上に置いた椅子に坐っていたかどうかお勧めしたのでありますが、松山さんによる紹介に始まり講演の終わるまでの一時間近く、福井さんは遂に立ったままという律儀振りを示されました。
そのような福井さんのお人柄を反映して、講演も実直な中にも時には淡々と、時には熱っぽく、聞く人の心を掴んで離しませんでした。
私が個人的に受けた印象ですが、福井さんが最もおっしゃりたかったのは、世上、

中森 建夫 (高14回)
北出 明 (高13回)
出口 正尚 (高22回)

東京支部会費

(年額1,000円)

大切な支部運営資金でありますので、「伊賀の友垣」同封の振込用紙でお振込みください。

口座番号 ゆうちょ銀行
00140-1-164093
上野高校同窓会東京支部

戦国時代に終止符を打ち、最終的に天下を平定した徳川家康が、いまわの際の枕元に呼んだのが藤堂高虎と天海僧正の二人きりで、息子の秀忠に「これからは何事も高虎に相談せよ」と言ったとのこと